

事務事業名	木次経済文化会館管理運営事業		所属部	教育委員会	所属課	文化財課	
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	文化財・文化振興G	課長名	角田 徳幸
	施策名	〈31〉地域文化の振興		担当者名	高橋 誠二	電話番号	0854-40-1075 (内線) 2231
	目的対象	市民	意図	地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。			
	基本事業	〈091〉文化芸術の振興		予算科目	会計 0:1500:1 款 5:00:1 大事業 0:1 大事業名 社会教育施設管理事業 中事業 1:1 中事業名 木次経済文化会館管理事業		
目的対象	市民	意図	文化芸術活動に親しむ。				

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
① 市民 ② 市外の人	①文化芸術、伝統芸能に関する事業を企画し、市民が文化芸術活動に触れる機会の拡充を図る。 ②積極的にイベントの情報発信をすることにより市民の文化活動への理解関心を促す。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	指定管理対象施設 ・木次経済文化会館、大ホール・会議室ほか、RC造4F 3,086㎡ H4.5月建築 ・駐車場(3階・4階・屋上) 演劇や映画、文化展を特色とした文化・芸術活動の拠点施設として管理運営を行っている。
④ 主な活動 R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①基本協定締結業務 ②年度協定締結業務 ③指定管理料支払事務 ④指導・協議業務	平成24年度より文化施設3館の指定管理料に含まれていた自主企画事業費を文化事業企画運営業務として分離して委託した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 施設利用者数	人	8,789	15,160	11,863	25,000
イ 施設平均稼働率	%	34.0	42.4	54.0	63.0
ウ 文化芸術に親しんでる市民の割合	%	38.9	40.7	42.6	50.0
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
指定管理料51,810千円	財源内訳	国庫支出金	千円					
事業委託272千円		県支出金	千円					
賃借料61千円		地方債	千円					
※令和元年度より施設修繕については「文化施設修繕事業」へ移管		その他	千円					
		一般財源	千円	52,654	52,142	52,143	52,143	
		事業費計	千円	52,654	52,142	52,143	52,143	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	適切に施設管理ができた。 大規模工事により「ホール」と「第1会議室」が利用できなかったが、利用者の大幅減につながらないよう稼働率の向上に努めた。
② 事業実施するうえでの課題	照明・音響設備等が耐用年数を経過し、更新時期を迎えており、計画的な修繕が必要。
③ 課題解決に向けた改革改善等	施設の老朽化に伴う大規模改修を計画的・効率的に実施していく。